

# 学校便り

# 学校評価結果について

広陽小学校

令和6年3月吉日

向春の候、保護者の皆様にはますますご清祥のこととお喜び申し上げます。さて、学校では、子どもたち一人一人が成長し、よりよい学校とするために、児童アンケート・保護者アンケート・教員アンケートを基に学校評価を行っています。前期の結果と改善策、保護者・学校運営協議会の皆様からいただいたご意見をお知らせいたします。

## ○アンケート結果より

	重点取組	指標・評価観点	評価方法	評価結果 後期	分析と改善策	
学校経営	・子どもたちは学校で楽しく過ごしている。	・安心して学ぶことができる居場所づくりをしている。 ・安心して学んでいる。	教職員アンケート 児童アンケート 保護者アンケート	96. 8%A 92. 8%A 92. 5%A	質問「嬉しい時・楽しい時はどんな時ですか」では、「友達に褒められたとき」「継割り遠足で、みんなでお弁当を食べたこと」「友達が遊びに誘ってくれたこと」「1学期より、ほかの学年の人と関わりが増えたこと」「分からない授業が分かるようになってすっきりしてうれしい」などの回答が見られました。友達や他学年との温かい関わりや、授業や活動での達成感を感じていることなどが伺えました。 しかし、「どちらかというと楽しくない」「楽しくない」と答えた児童も7.2%と増えています。 引き続き、安心して過ごし、何かあった際に躊躇うことなく教職員に話せる学級・学校づくりを行っていきます。人と関わり、自己肯定感を高められるよう認める声かけを行い、あたたかい人間関係を築くよう指導していきます。	
学習（進んで伝え合う子）	・ねらい（育みたい資質・能力）を明確にした授業を行っている。	・ねらいに合わせた児童の具体的な姿を設定している。 ・児童が学びや変容を自覚できるように、まとめや振り返りを書く場を設定したり、活用問題の場を設定したりしている。	教職員アンケート 児童アンケート 保護者アンケート	96. 8%A 92. 6%A 87. 9%B	つけたい力を明確にした授業づくりを行っているものの、確実にその力が身についているとは言えない状況です。前期に引き続き、授業後半の充実を図り、児童が学びや変容を実感できるようにするために、自分の言葉で学んだことをまとめ、適用題にまで確実に取り組みます。 また、学年で計画的に単元末やさわやかタイムの時間をつかって、活用問題にも取り組んでいくようにし、学んだことを使ってできた、わかったという達成感を感じられるようにしていきます。	
	・家庭学習の具体的な学習方法等を具体例を挙げながら教えている。	・家で計画を立てて勉強をしている。	教職員アンケート 児童アンケート 保護者アンケート	82. 1%B 84. 7%B 85. 4%B	「おうちでバッチャリ週間」を強化週間として、どの子も達成できるよう個別に声かけ、指導を行っていきます。児童の実態から配慮が必要な場合は、個別に対応をし決めた量を達成できるよう励まし、家庭学習の習慣が身につくよう、引き続き粘り強く指導を行っていきます。	
生徒指導（思いやりを形で表す子）	・自分から目を見て笑顔で明るい声で友だちや先生や地域の方、来校者に挨拶をする。	・先生や地域の方、来校者にあいさつをしている。 ・自分から明るくあいさつしている。	教職員アンケート 児童アンケート 保護者アンケート	70. 0%C 86. 9%B 85. 2%B	今回の結果を受けて、3学期の短期間での改善策として、毎月の生活目標を挨拶だけに限定し、月ごとにスマールステップを踏んで、指導していきます。また、生活委員会など児童会活動とも引き続き連動し、教職員も含めて全校で、進んで挨拶のできる姿を増やしていきます。 また、挨拶ができるることを認める声かけを続けたり、様々な場面で挨拶の指導をしたりしながら、挨拶の必要性を知らせ実感できるようにしていきます。	
	・子どもたちは、いじめられたり無視されることなく、安心して過ごしている。	・子どもとの関係づくりに努めている。 ・学年、チームで連携していじめ問題の解決を図っている。	教職員アンケート 児童アンケート 保護者アンケート	96. 8%A 90. 5%A 91. 9%A	前期と同様に、良い評価結果が継続できています。しかし、数値的には小幅な減少が見られたため、引き続き月に1度の「生活アンケート」の実施と共に、児童が安心・安全に通える学校づくりに努めています。 また、前期から引き続き、学校や学年、チームで連携や協力し合う体制の強化・実践を図っていきます。さらに、生徒指導サポーターやスクールカウンセラー、特別支援教育センターと共にいじめ予防や対応の校内研修の実践と、日々の学校生活での支援を行っていきます。	
特へた別しく健なま 康やし体か子 育で～	・目標に向かって頑張って運動する。	・体育の時間に全力で取り組めるように目標を提示している。 ・目標に向かって一生懸命体を動かしている。	教職員アンケート 児童アンケート	100%A 92. 9%A	今後の取り組みとして、「体育科の授業の充実」を行います。児童が目標をもつて運動に取り組むために、児童の実態に合った授業の課題を設定し、児童が夢中になって取り組める場の設定を行います。教職員の中で教具の工夫や授業づくりの工夫を共有し合いながら、体育科の授業をより充実させていきます。 また、学年やクラスごとに目標を設定し、「スポーツやらしいしかわ」や「1校1プラン」の活動に全校で取り組んでいきます。目標達成した際には、ほめる、認めるなどでさらなる児童の意欲向上に努めています。	
地域・保護者	・各種便りやホームページなどを通じて、保護者への情報発信に努める。	・各種たより（学校便り・学年便り・保健便り・図書館便り・給食便り）を月1回出している。 ・学年便りに写真を掲載している。 ・ホームページは月1回更新している。	教職員アンケート 児童アンケート	78. 6%C 88. 3%B	HPではトピックス欄で学校での活動を掲載しています。今後も、各学年の活動を掲載していきます。 totoruを活用し、各種便りを配信していきます。	

## ○保護者（自由記述）より

- 学年だより、学校だよりなど、写真をカラーで見たい
- 3学期以降はtotoruというアプリで、学年だよりも等のおたよりもPDFで配信しています。totoruではカラーでお届けできます。  
また、見守り隊の方には従来通りメール配信を行っていきます。二重にお便りが届く場合もありますが、ご了承くださいますようお願い致します。
- GIGA/パソコンをもっと使ってほしい
- ご指摘ありがとうございます。子どもたちの学年や状況に応じて積極的に使っているところです。学習道具の1つとして、活用していきます。

## ○学校運営協議会より

- 子ども達からあいさつをしてくれました。引き続き、あいさつの指導をお願いしたい。
- 今後の防災計画を見直して行く必要があり、マニュアルの作成や市との連携を図っていくことを検討していきます。